

平成30年度 農業科 (ハイテク農芸科)

教科	農業	科目	農業機械	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「農業機械」 (実教出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

農業機械の取扱いと、農業機械の維持・管理に必要な知識と技術を習得させ、機械の構造と作業上の特性を理解させるとともに、実際に機械を扱い機械に慣れる。その中で農業機械の効率的な利用を図る能力と態度を育てる。

2 学習の到達目標

農業機械の取扱い、維持管理及び利用について学習させる。主としてトラクタ、作業機と原動機を扱い、それらの構造や役割など、農業機械の利用と今日的な課題などについて関心をもたせ、機械を操作する楽しさなどを体験させ、農業機械に対する意欲を学ばせ、育て、理解させること。また、作業上の特性と安全性について理解させ、農業機械を効率的に利用する能力と態度を育成すること

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	農業機械における専門的な知識・技術を主体的に学ぼうとする関心・意欲がある。自ら学び、熱心に、そして安全に取り組む姿勢・態度である。	主体的に機械操作などについて学ぶ。そして、他者と協力しながらも技術操作、安全操作について学ぶことができる。	実践的な学習活動を通して、農業機械の作業上の特性と安全性について理解させ、機械を効率的に利用できる。機械を安全に扱うことができる。	農業機械に関する基本的な特性を理解し、機械の特性に関する基礎的な知識を身に付け身に付け、農業の効率化の重要性を理解している。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノート レポート 機械操作	学習状況の観察 ノート レポート 定期考査 機械操作	学習状況の観察 機械操作	学習状況の観察 ノート レポート 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
年間	1、農業機械化の役割	機械化による農作業の改善と農業経営の発展を計るため機械化と農業経営の関係を理解させる。	○	○		○	a: 農業機械における専門的な知識・技術を主体的に学ぶうとする関心・意欲がある。自ら学び、熱心に、そして安全に取り組む姿勢・態度である。 b: 主体的に機械操作などについて学ぶ。そして、他者と協力しながらも技術操作、安全操作について学ぶことができる。 c: 実践的な学習活動を通して、農業機械の作業上の特性と安全性について理解させ、機械を効率的に利用できる。 機械を安全に扱うことができる。 d: 農業機械に関する基本的な特性を理解し、機械の特性に関する基礎的な知識を身に付け、農業の効率化の重要性を理解している。	学習状況の観察 ノート レポート 機械操作 定期考査
	2、機械の構造について	エンジンは、圃場で農業機械を操作するうえで最も基本的な原動機である、その作動原理と構造について学び、正しい取扱い方を身につけさせる。	○			○		
	3、トラクタの構造	乗用トラクタの基本的な機能について理解し、運転の基本操作や日常点検方法を身に付ける。	○	○	○			
	4、農業機械の安全	農業機械による事故の現状、実態について理解し、使用前の農業機械の点検、整備の基本手順を身に付ける。	○	○	○			
	5、農業機械の利用、基本操作	農業機械には様々な種類があり、どのような分類方法があるか理解させ本校にある農業機械にの基礎的な知識を身に付け実際に操作してみる。	○	○	○	○		

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点:原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。